

平成 22 年 5 月 17 日

各 位

株式会社りそな銀行
株式会社 埼玉りそな銀行

投資信託「野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）」
（愛称：グローバルアシスト）」の取扱開始について

りそなグループのりそな銀行（社長 岩田 直樹）、埼玉りそな銀行（社長 上條 正仁）は、本日より、野村アセットマネジメント株式会社が設定・運用する投資信託「**野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）（愛称：グローバルアシスト）」**の取扱いを開始いたします。

本商品は、国際機関の信用力と新興国の成長力に期待する投資信託です。

本ファンドの主な特徴は以下の通りです。

（1）国際機関が発行する、信用力の高い債券を主要投資対象とします。

最高位の信用力を有すると考えられる国際機関債を主要な投資対象とします。

投資時点において、A a a 格（M o o d y ' s）またはA A A 格（S & P 社）の格付が付与されている国際機関債に投資します。

（2）相対的に高利回りで、成長が期待できる新興国通貨への投資効果を追及します。

新興国の通貨の中から、相対的に金利の高い複数の通貨を選定し、国際機関債等への投資および為替予約取引等の活用を通じて、ポートフォリオを構築します。

（3）毎月 1 5 日の決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行います。

※分配金額は、あらかじめ一定の分配金のお支払を約束するものではなく、分配金が支払われない場合もあります。

りそなグループでは、今後ともお客さまの多様化するニーズに幅広くお応えできるよう、より一層商品の充実に取り組んで参ります。

以上

【別紙】

<商品概要>

ファンド名称	野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）（愛称：グローバルアシスト）
申込単位	1万円以上1円単位
当初申込期間	平成 22 年 5 月 17 日～平成 22 年 5 月 26 日
継続申込期間	平成 22 年 5 月 27 日～平成 23 年 8 月 5 日まで ※上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます
信託設定日	平成 22 年 5 月 27 日
信託期間	平成 32 年 5 月 15 日
決算日	毎月 15 日（正、休業日の場合は翌営業日）です。なお、初回決算日平成 22 年 7 月 15 日となります。
お申込み・ご換金	原則、いつでもお申込み・ご換金が可能です。ただし、ファンドの休業日にあたる場合はお申込み・ご換金できません。
販売手数料	2.625%（税抜 2.5%）以内
信託報酬	純資産総額に年 0.924%（税抜年 0.88%）の率を乗じて得た額。 なお実質的にご負担いただく信託報酬率は、上記信託報酬にファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値 年 1.274%程度（税込）です。
信託財産留保額	ありません
委託会社	商号等/野村アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 373 号 加入協会/社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会
販売会社	商号等/株式会社りそな銀行 登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 3 号 加入協会/日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会 商号等/株式会社埼玉りそな銀行 登録金融機関 関東財務局長（登金）第 593 号 加入協会/日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会
受託会社	商号等/野村信託銀行株式会社

（ご留意事項）

- ・投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。
 - ・投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。
 - ・当社を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
 - ・投資信託の募集・申込等のお取扱は当社、設定・運用は投資信託委託会社が行います。
 - ・契約締結前交付書面や投資信託説明書（目論見書）は本支店窓口等にご用意しております。
- なお、投資信託説明書（目論見書）は、りそな銀行・埼玉りそな銀行のWebサイトからもダウンロードできます。

ファンドの主なリスク

当ファンドは、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。従って、当ファンドは、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益及び損失は、全て受益者に帰属することとなります。当ファンドにおける主な投資リスクは次のとおりです。これらの投資リスクにより、当ファンドの基準価額は下落する可能性があり、損失を被り投資元本を割込むことがあります。

主な投資リスク	主な投資リスクの内容（損失が生じる恐れがある理由）
金利変動リスク	債券の価格は、通常、金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。ファンドは、投資信託証券への投資を通じて実質的に債券に投資しますので、金利の変動により、ファンドの基準価額は変動します。
為替変動リスク	ファンドの投資対象である外国投資信託ノムラ・カレンシー・ファンド—スープレナショナル・ボンドークラスAにおいては、外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を大きく受けます。特に、ファンドは新興国通貨建ての債券に実質的に投資しますので、新興国の通貨の為替変動の影響を大きく受けます。
信用リスク	有価証券等への投資にあたっては、発行体において利払いや償還金の支払いが遅延したり、支払いが滞るリスクが生じる場合があります。
有価証券の貸付等におけるリスク	投資対象とする投資信託証券が行なう有価証券の貸付等において、取引先リスク（取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる危険のこと）が生じる可能性があります。